

## 2-34-8 仁和寺 重要文化財 観音堂

建立／江戸初期 寛永 18 年（1641）～正保元年（1644）

本尊／千手観音菩薩

現在の建物は寛永 18 年から正保元年にかけて建立。

千手観音菩薩を本尊とし、脇侍として不動明王・降三世明王、そのまわりには二十八部衆を安置する。また須弥壇の背後や壁面、柱などには、極彩色で仏・高僧が描かれる。

現在も仁和寺に伝わる法流の相承などに使用される。

※須弥壇=本尊等の仏像を安置するために 1 段高く設けた場所。須弥山に由来する。

仁和寺の説明板より